



令和 7 年 10 月 1 日

トピックス ～ リース取引について ～

リース契約は、その契約内容によって会計処理の方法が異なるため、リースを利用する際には仕訳方法を正しく知っておく必要があります。今回はリース取引についての概要をまとめました。詳しくは当事務所にお尋ね下さい。

【種類】

リース取引には、大きく分けて「ファイナンス・リース取引」と「オペレーティング・リース取引」の2種類があります。

ファイナンス・リース取引とは、以下の2つの要件のいずれにも該当するリース取引をいいます。

- リース期間中に契約を解除できないリース取引またはこれに準ずるリース取引（解約不能）
- リース物件の取得価格及び諸経費の概ね全額をリース料として支払うリース取引（フルペイアウト）

さらに、ファイナンス・リース取引は、契約内容によって「所有権移転ファイナンス・リース取引」と「所有権移転外ファイナンス・リース取引」に分類されます。一方、オペレーティング・リース取引は、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいいます。

【会計処理方法】

オペレーティング・リース取引は支払った金額を「リース料」として費用処理します（賃貸借処理）。

一方、ファイナンス・リース取引は「解約不能」や「フルペイアウト」という要件を満たすものであり、実質的に見ると、自己で固定資産を購入したものと変わらないため、資産に計上し、その減価償却をしていくという会計処理となります（売買処理）。ただし「所有権移転外ファイナンス・リース取引」については、中小企業またはリース資産総額に重要性が乏しい場合（リース契約 1 件当たり 300 万円以下）には、賃貸借処理が可能となります。なお、減価償却をする場合の期間は、「所有権移転ファイナンス・リース取引」では法定耐用年数、「所有権移転外ファイナンス・リース取引」ではリース期間となります。

- 「オペレーティング・リース取引」 → 「リース料」
- 「所有権移転ファイナンス・リース取引」 → 「リース資産・リース負債」
- 「所有権移転外ファイナンス・リース取引」 → 「リース資産・リース負債」または「リース料」

【リースのメリット】

- 一時に多額の購入資金が不要
高額な資産を導入したい場合でも毎月のリース料を支払うだけで済みます。
- 事務負担の軽減（アウトソーシング）
資産を購入した場合は、資金調達や損害保険、償却資産税、資産管理などが必要となりますが、リースであればそれらが必要なくなります。
- 費用の平準化・加速化
「オペレーティング・リース取引」や「所有権移転外ファイナンス・リース取引」であれば、費用計上が定額となり、予定を立てやすくなります。また期間もリース期間となるため、費用化を早くできます。
- 資金調達の多様化
金融機関からの借入枠は温存されることになるため、資金調達力に余裕が生まれます。

【リース取引についての消費税の取扱い】

オペレーティング・リース取引については、リース料を支払うべき日の属する課税期間、ファイナンス・リース取引については、原則としてリース資産の引き渡しを受けた日の属する課税期間において課税仕入れとして処理します。ただし、所有権移転外ファイナンス・リース取引について賃貸借処理をしている場合は、リース料を支払うべき日の属する課税期間において課税仕入れとして処理することも認められています。

10月の声を聞いて、にわかに秋めいております。先月の9月号では、とても使えなかったフレーズの「日中はまだまだ残暑が厳しいものの、朝晩は風も涼しくなり秋の訪れが感じられます」という時候の挨拶がやっと似つかわしい今日この頃です。「暑さ寒さも彼岸まで」という諺も死語ではなく、健在であることがとても心地よいです。隣の畑では今年も忘れずに彼岸花が咲きだしております。

まずは、先月に行ってきました、大阪・関西万博の報告をさせていただきます。

顧問先様からチケットをいただきましたので、11日に出かけました。前日の予報ではかなりの確率で雨模様と覚悟しておりましたが、ラッキーなことに、終日、晴天に恵まれました。早朝にかなりの降雨があったようでしたが、日中は晴れ間が広がるという願ってもない天候でした。日ごろの心掛けが良かったのかもしれませんが、55年前の万博での感激には及ばないものの、「百聞は一見に如かず」の感がありました。とりわけ、全周2kmに及ぶ巨大な大屋根リング（3階建て、高さ20m）は圧倒的でした。世界最大の木造建築物としてギネス世界記録に登録されましたが、これこそ、テレビの映像ではなく、現物を実際に体験できたことが万博見物の最大の成果といえます。確かに、55年前のような全く未知の画期的なテクノロジー、ないしはデモンストレーションと言うほどのものではありませんでしたが、近未来に実用化されるであろうテクノロジーを垣間見させてくれました。もともと、ご多聞に漏れず、スマホを使いこなせておりませんので、入場登録まではなんとかたどり着けましたが、人気のパビリオンを予約するまでには至らず、予約無しで入場できるパビリオンを5カ所ほど巡る結果となりました。具体的にはスペイン、インド、飯田グループの各パビリオンと吉本興業のショートコント会場等でした。午前中はそれほど混雑することもなく、30分程の待ち時間で入場できました。スペインやインド館では過去から近未来に向けた歴史やビジョンに触れることができましたし、日本との「縁」も意外な、そして身近な距離感であることを実感しました。傑作だったのは、スペイン館に入場する折に、キリンが出迎えてくれたことです。離れたところから見ると正に本物のキリンのような動きでしたが、何のことは無い、中に人が入っているぬいぐるみでした！結構、これが様になっていました。

ご参考までに、会場内では現金は使えません。スマホかクレジットカードによる決済のみです。これからの日常生活においても、決済はキャッシュ不要というよりも不可になるものと覚悟しておく必要があります。また、当然のことながら？会場内での飲食はかなり高めの料金設定であるとともに、何処も行列待ちのため、事前にコンビニ等で飲物・軽食を調達しておくのが賢明です。買おうにも長蛇の列に並ばなければなりません。それからお奨めは、軽便な椅子を持参することで、待ち時間を座って過ごせます。なんだかんだと結構歩き回りますので、立ちっぱなしですと、あとで足に負担がかかりますので、ご注意ください。

とはいえ、開催期間も残り2週間となりました。これからは、しり上がりに入場者数も増えることが予想されます。残暑を避け、夜間に絞って見どころをゲットするのも一興でしょうか。いずれにしても、「日本語で世界旅行ができる」というキャッチフレーズそのままに、1日を堪能することができました。

ついで、国内の政治動向について。いよいよ、自民党の総裁選挙が佳境を迎えております。

衆参ともに少数与党になった厳しい状態での出直し選挙となっております。現在の状況では必ずしも総理大臣に自動的に就任できる保証はありませんが、党内のコップの中の争いに留まらず今後の国政を左右することは間違いなく、国民・納税者としても、各候補者の政策や戦略（それを実現するための野党との連携を含めて）に重大な関心を寄せていく必要があります。残念ながら、印象としては各候補者とも失点を恐れてか、個別に大胆な方向性を積極的に打ち出すというよりは、濃淡はともかく抽象的な理念を訴えているように思われます。但し、国民の最大関心事は、円安・インフレ懸念からくる物価高が生活を直撃している不安や不満を如何に解消してくれるか、という点です。確かに、候補者サイドからすれば、高度成長時代ならばともかく、低成長の現実を前にして、明るい未来を約束できる実現可能な政策を開陳することは至難の業と言えます。第2次トランプ政権が繰り出す高関税政策に翻弄され、格差と分断がますます勢いを増している内外の現状では、日本の近未来が不透明なため、候補者の個別政策の「良し悪し」というよりも、候補者本人の力量と危急存亡の危機（大災害、大不況等）に陥った時の決断力・実行力が備わっているかどうか、という資質を見極めることになりそうです。

《和奏・遼真通信》 今回は耳寄りな情報が届いておりませんので、

愛読者!!の方には誠に申し訳ありませんが、お休みとさせていただきます。

(令和7年10月1日 所長 橋本)



ぜんぶのいのちと、
ワクワクする未来へ。

2025年4月13日(日)～10月13日(月)
大阪 夢洲(ゆめしま)